

木材需給動向について (全国)

2023年6月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

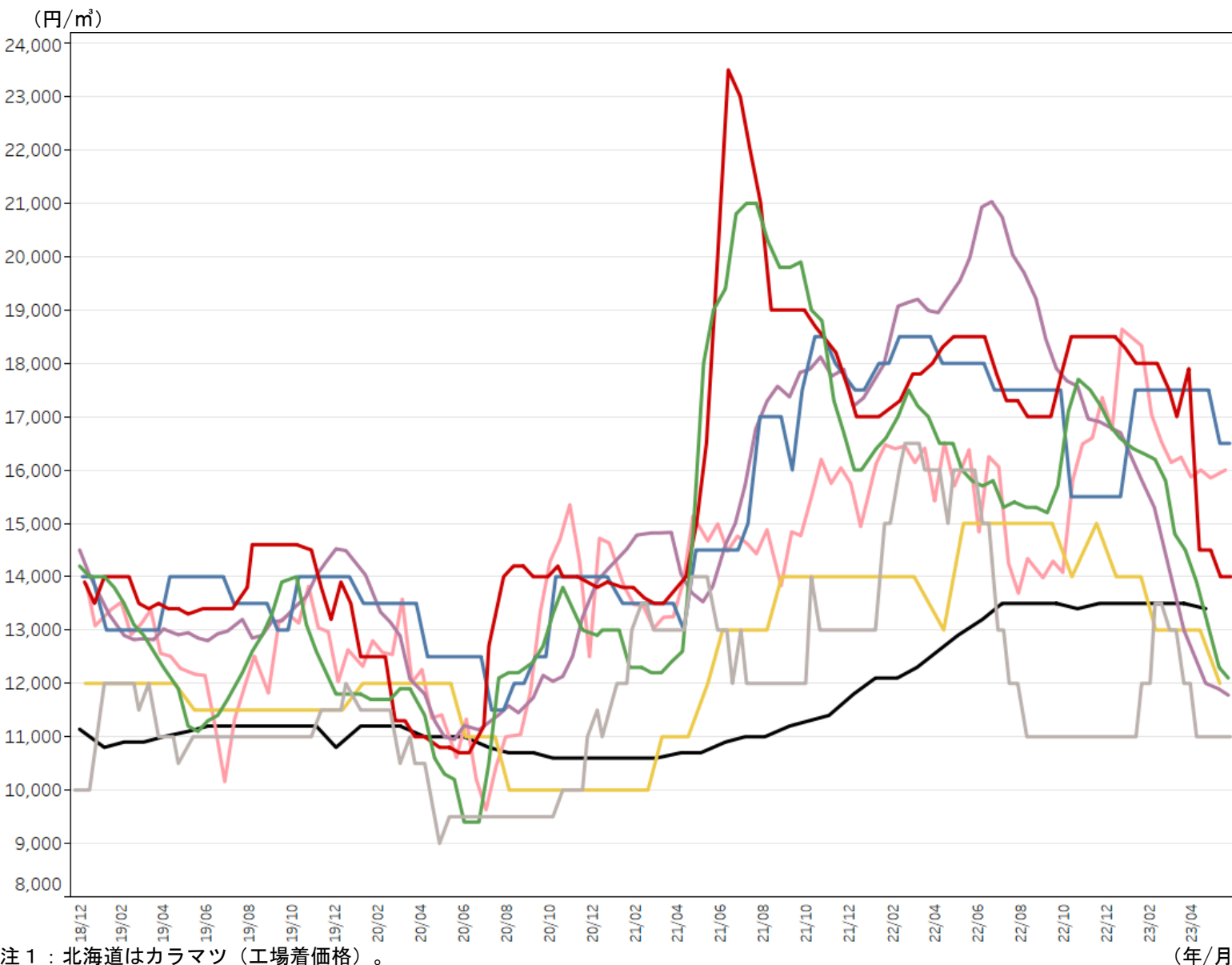
3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、11,000円~16,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,400	12,600	106%
秋田県	11,780	19,980	59%
栃木県	16,000	16,380	98%
長野県	12,000	15,000	80%
岡山県	11,000	16,000	69%
高知県	16,500	18,000	92%
熊本県	14,000	18,500	76%
宮崎県	12,100	15,800	77%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

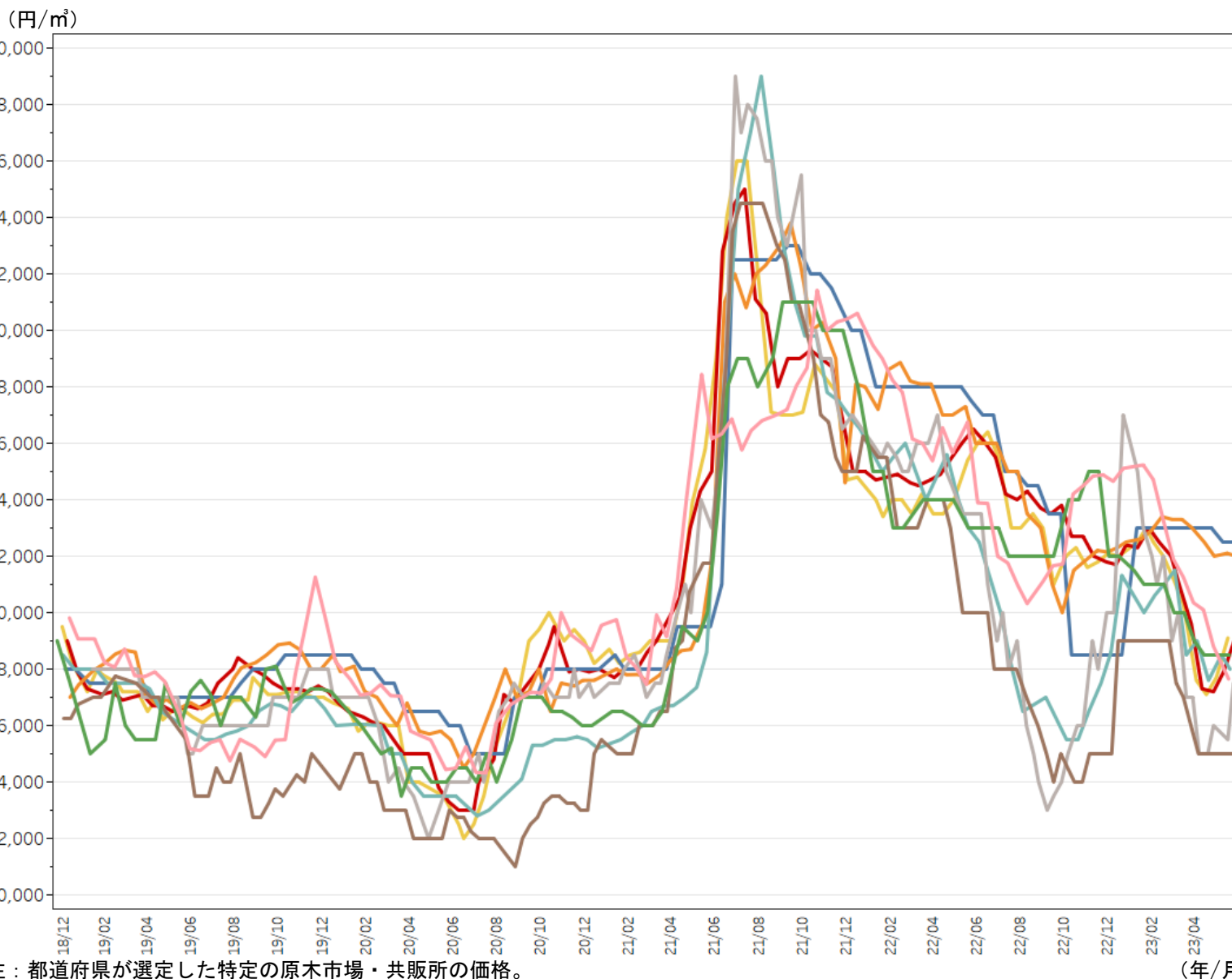
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円~22,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

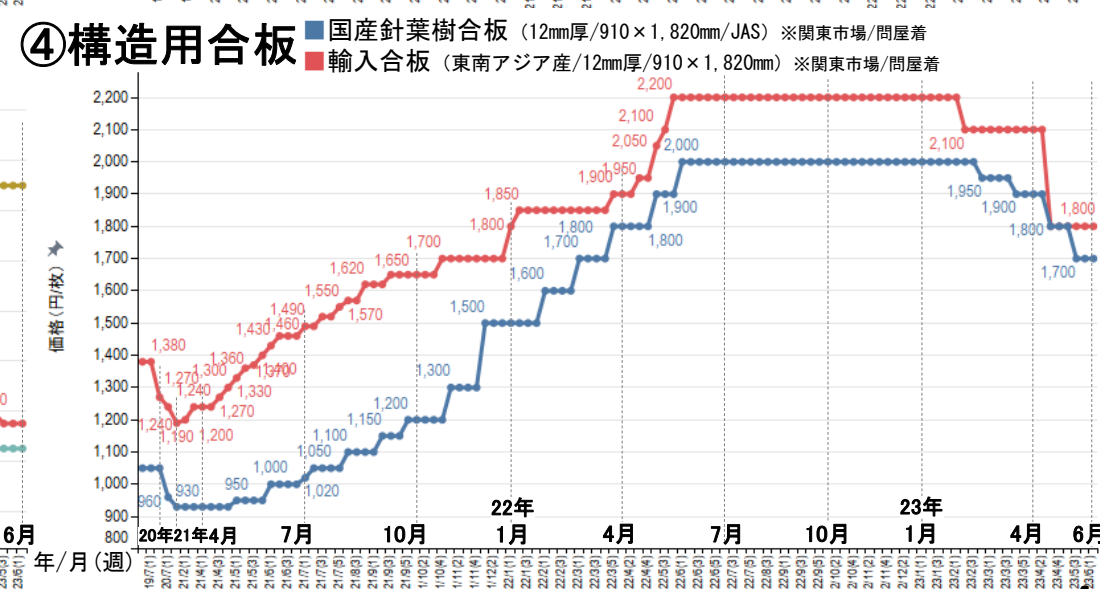
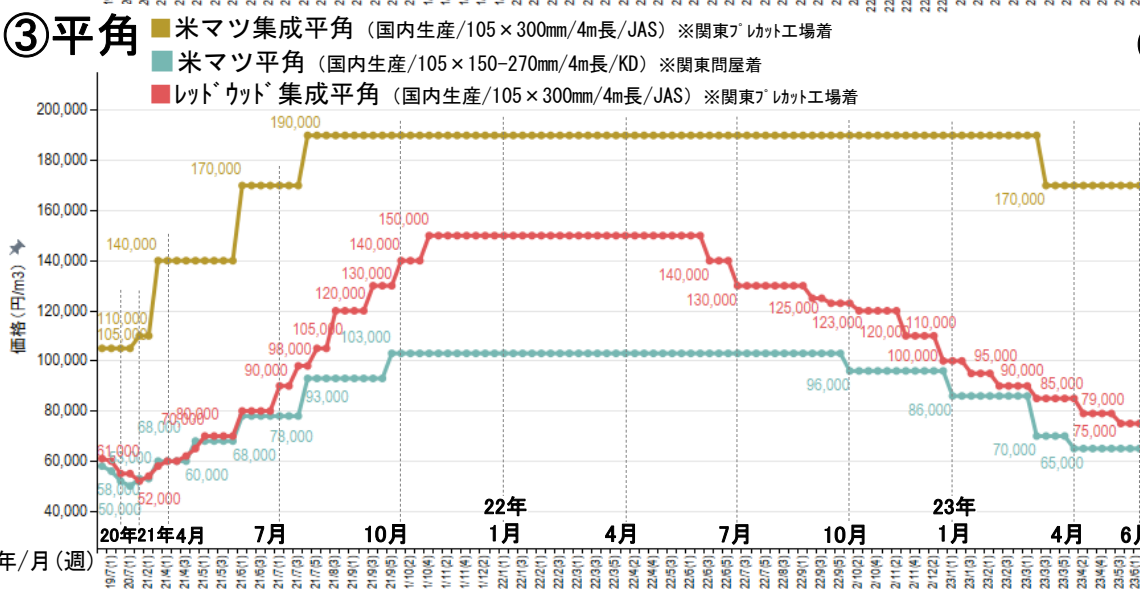
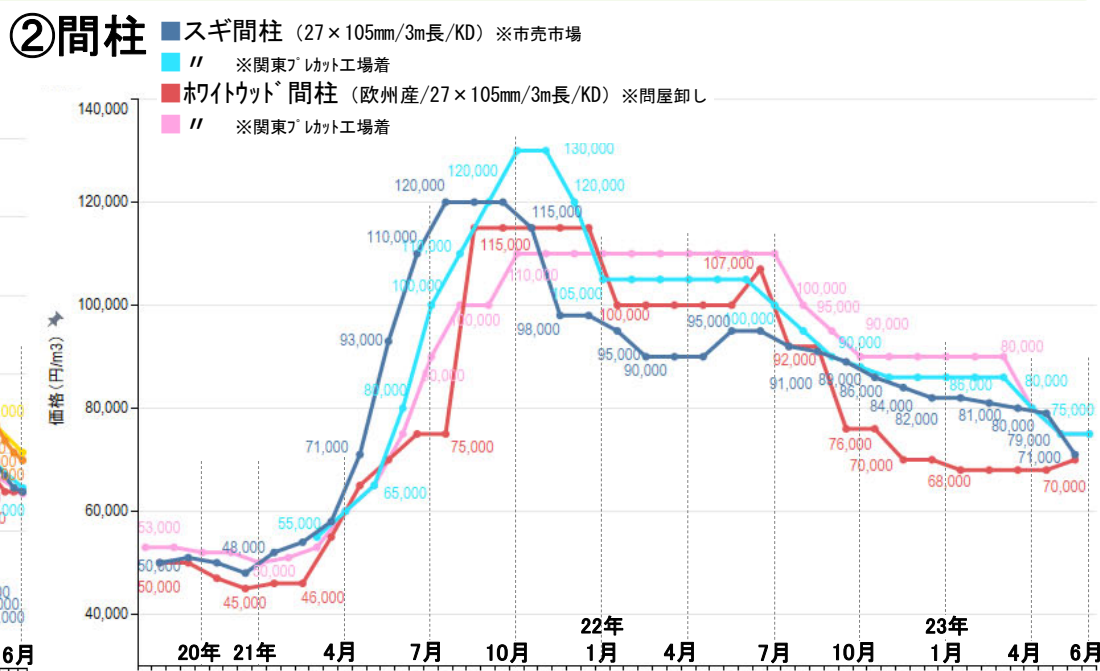
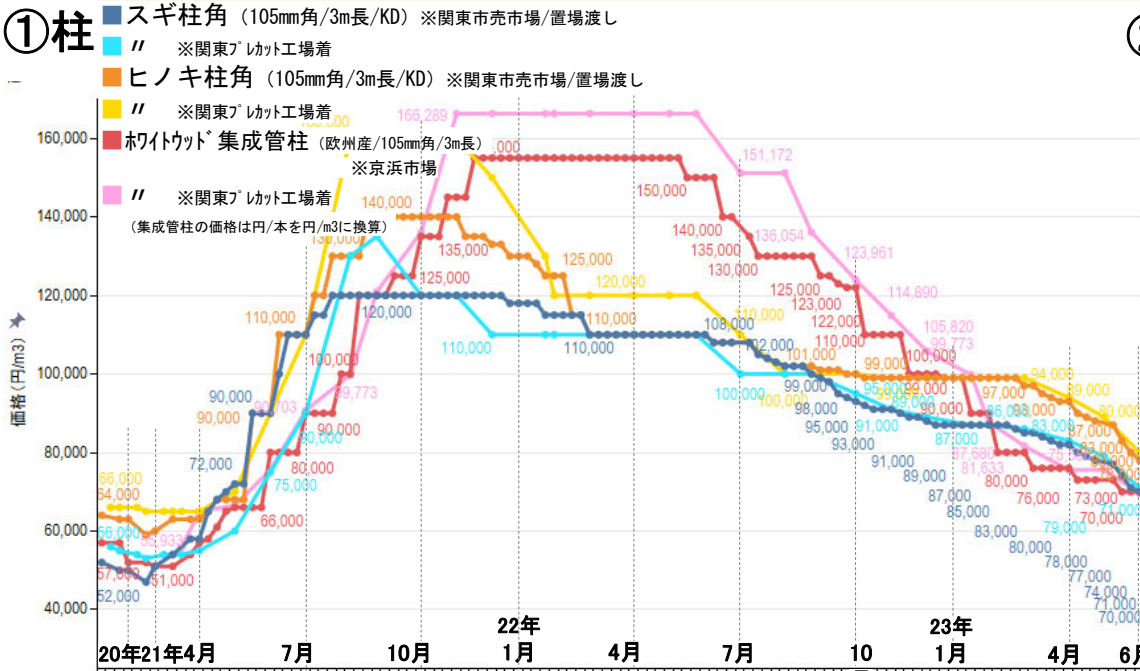
都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	17,650	26,750	66%
静岡県	18,500	23,000	80%
兵庫県	15,000	20,000	75%
岡山県	17,500	23,500	74%
広島県	18,000	23,000	78%
愛媛県	22,000	26,000	85%
高知県	22,500	27,500	82%
熊本県	19,000	26,500	72%
大分県	19,100	25,400	75%

※各県5月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 令和3年(2021年)は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4年(2022年)以降も、以前に比べて高値圏で推移。

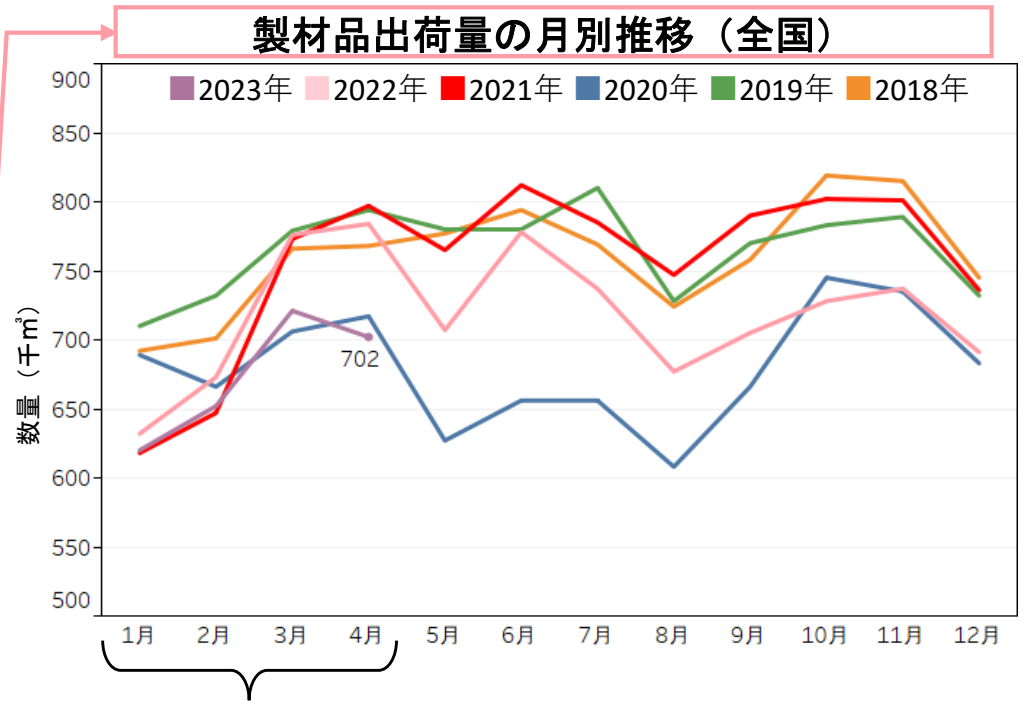
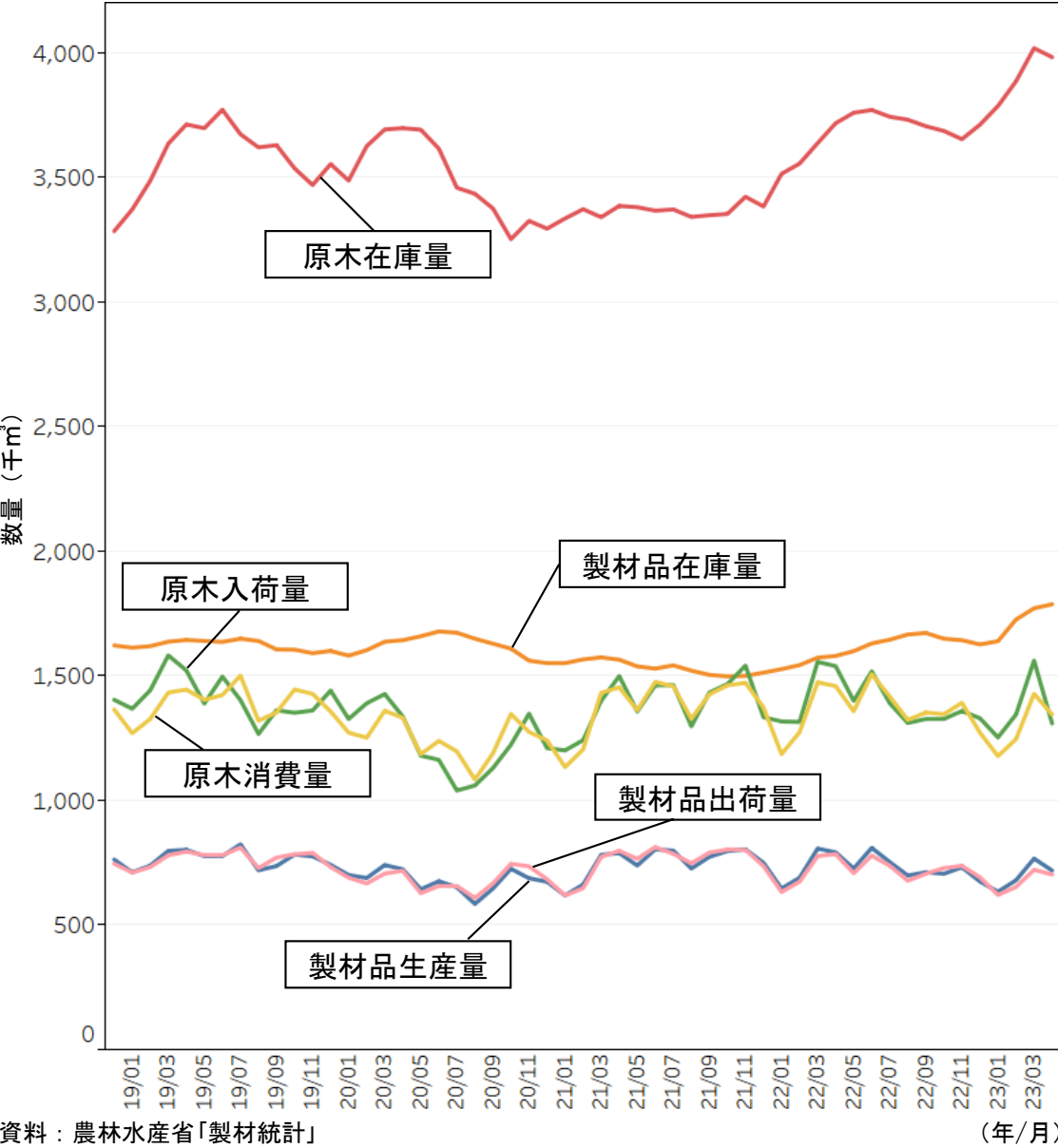


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2023年1～4月の原木の入荷量は5,464千m³ (2019年比92%)。
- 同様に製材品の出荷量は2,695千m³ (2019年比89%)。

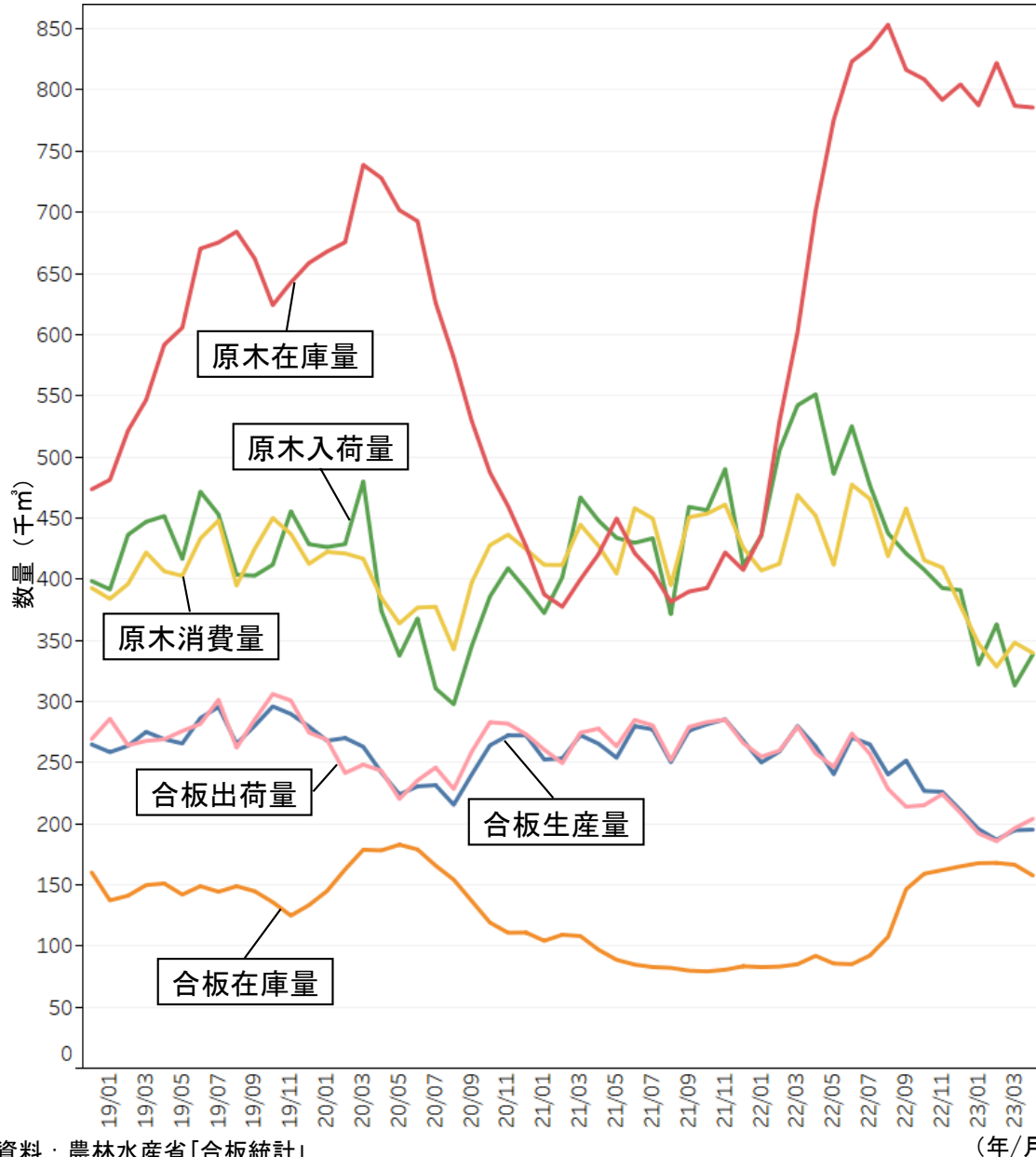


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～4月原木入荷量合計(千m ³)	5,623	5,910	5,477	5,338	5,723	5,464
2019年との比較*	95%	—	93%	90%	97%	92%
1～4月製材品出荷量合計(千m ³)	2,927	3,015	2,778	2,835	2,865	2,695
2019年との比較*	97%	—	92%	94%	95%	89%

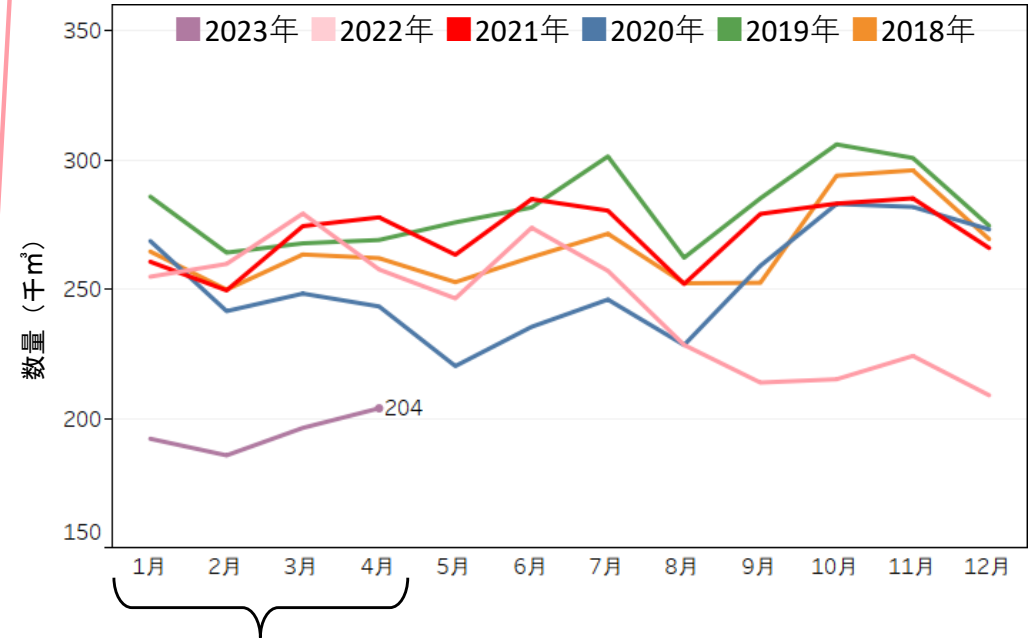
*コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板 (全国)

- 2023年1～4月の原木の入荷量は1,344千 m^3 (2019年比78%)。
- 同様に合板の出荷量は778千 m^3 (2019年比72%)。



合板出荷量の月別推移 (全国)

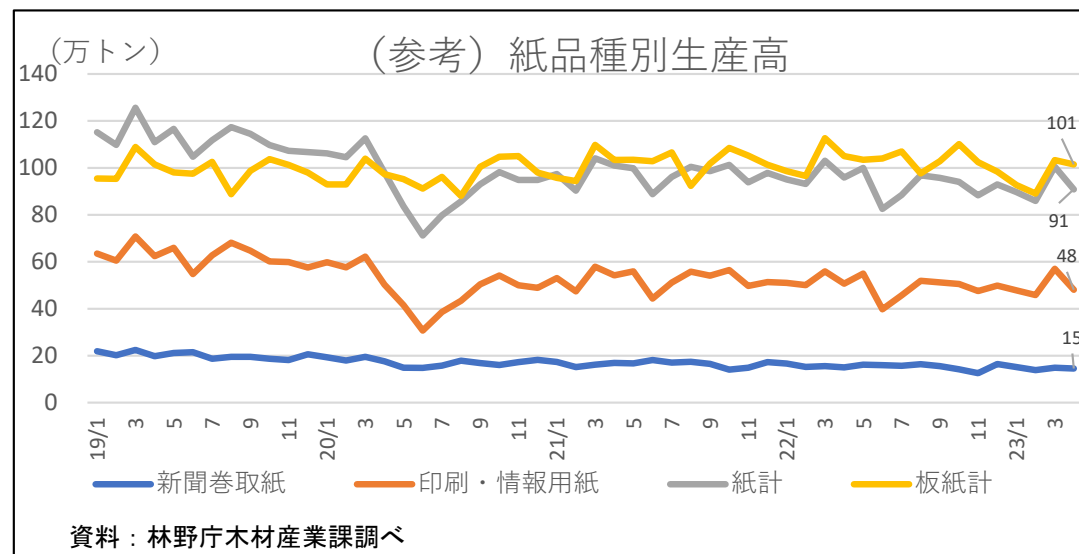
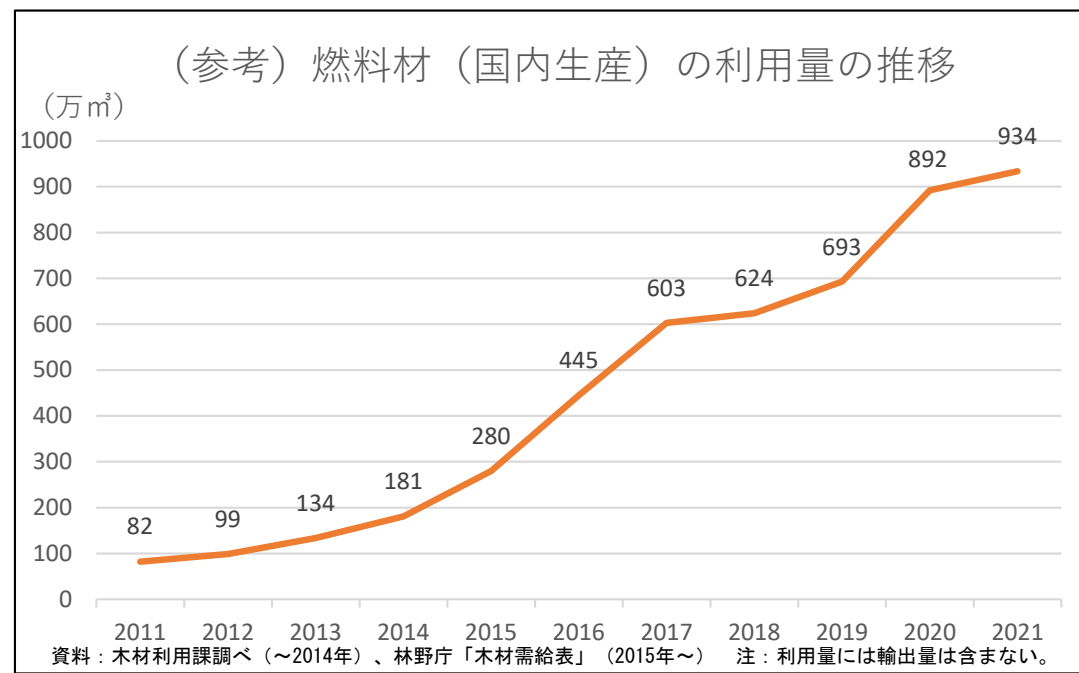
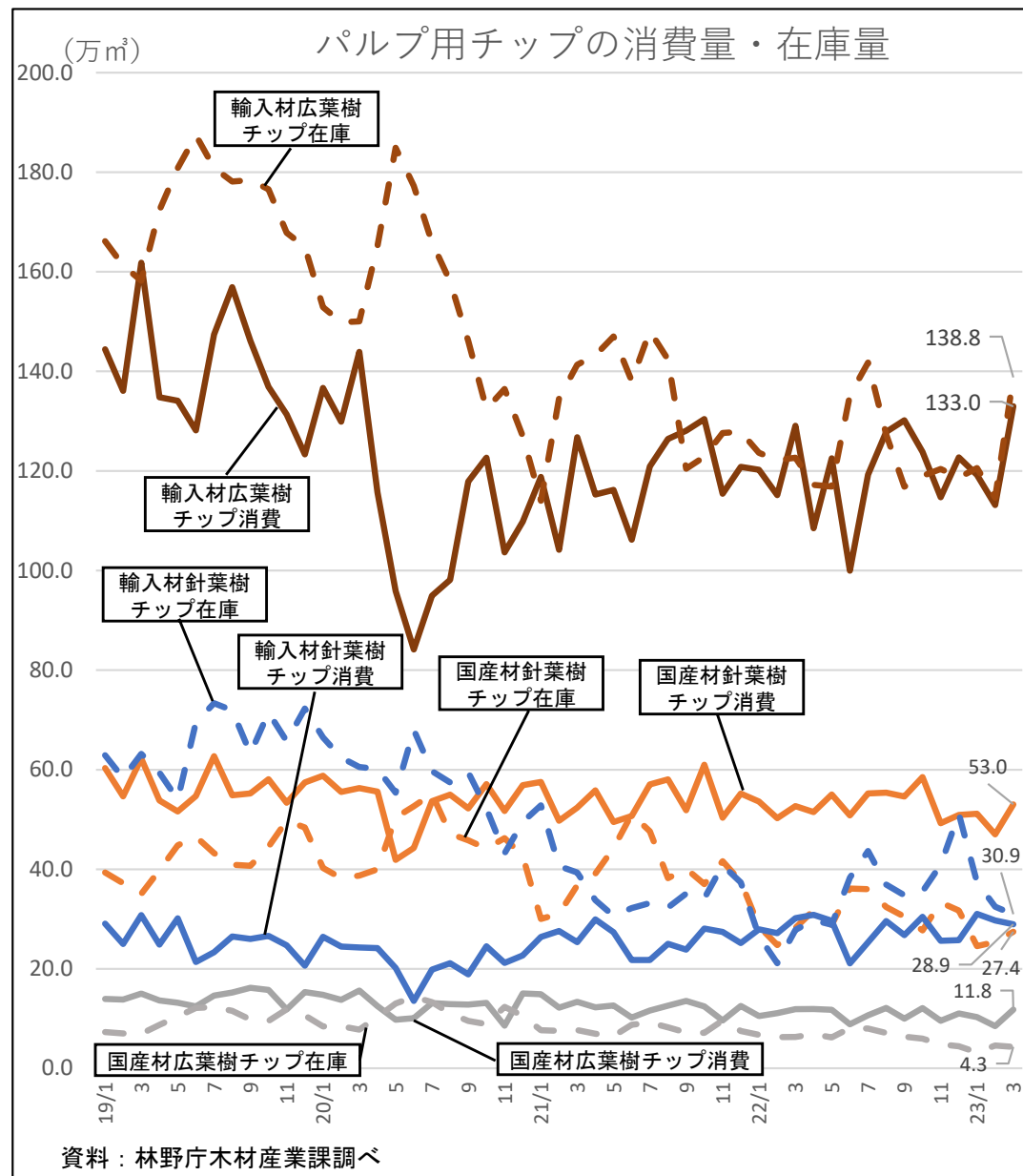


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～4月原木入荷量合計(千 m^3)	1,668	1,726	1,709	1,688	2,034	1,344
2019年との比較*	97%	—	99%	98%	118%	78%
1～4月合板出荷量合計(千 m^3)	1,040	1,087	1,002	1,062	1,051	778
2019年との比較*	96%	—	92%	98%	97%	72%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ (全国)

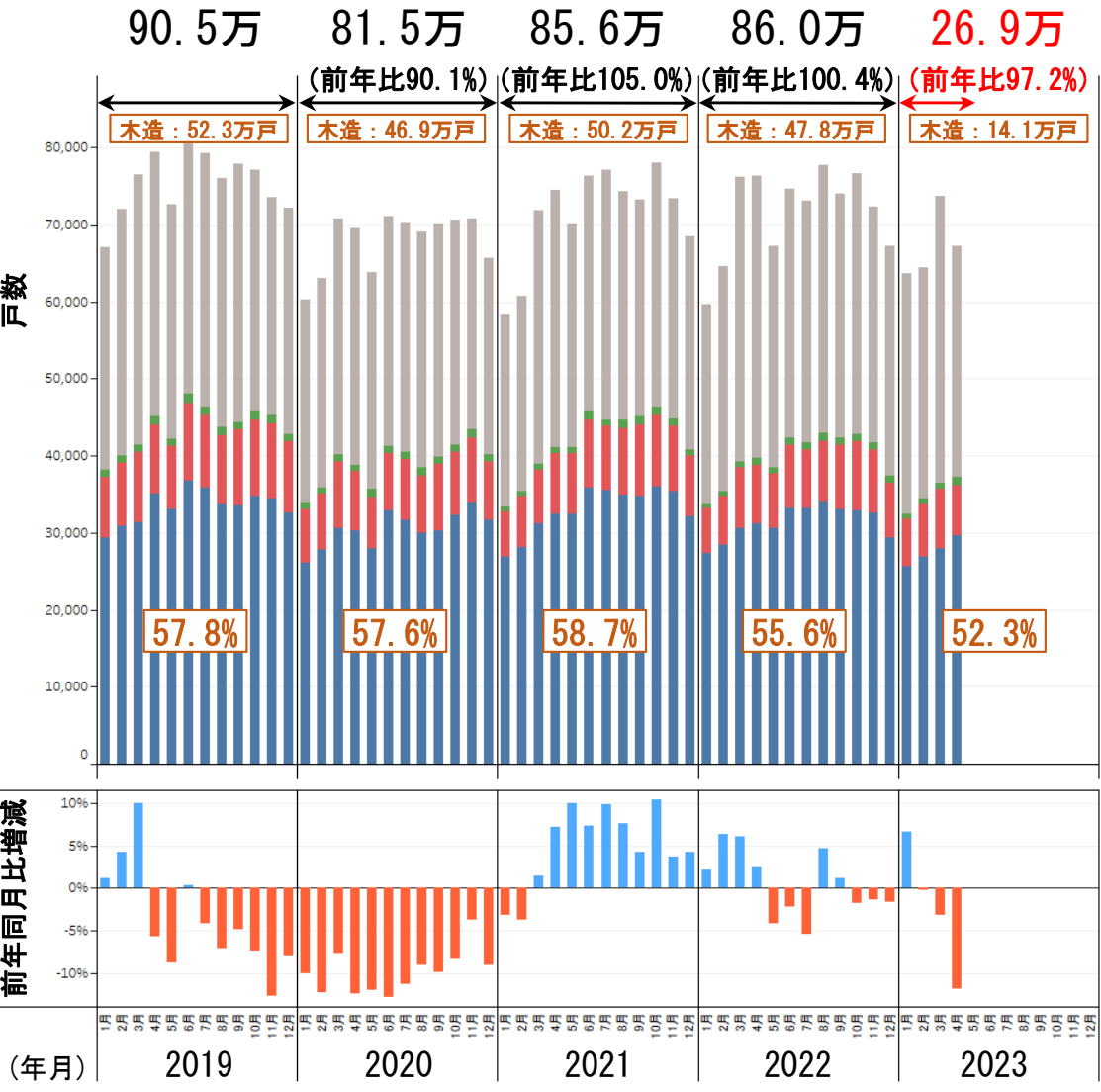
- パルプ用チップの消費について、2023年3月の輸入材広葉樹チップの消費量は133.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は53.0万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約11倍）。



3 住宅着工戸数の動向（2019年1月～2023年4月）

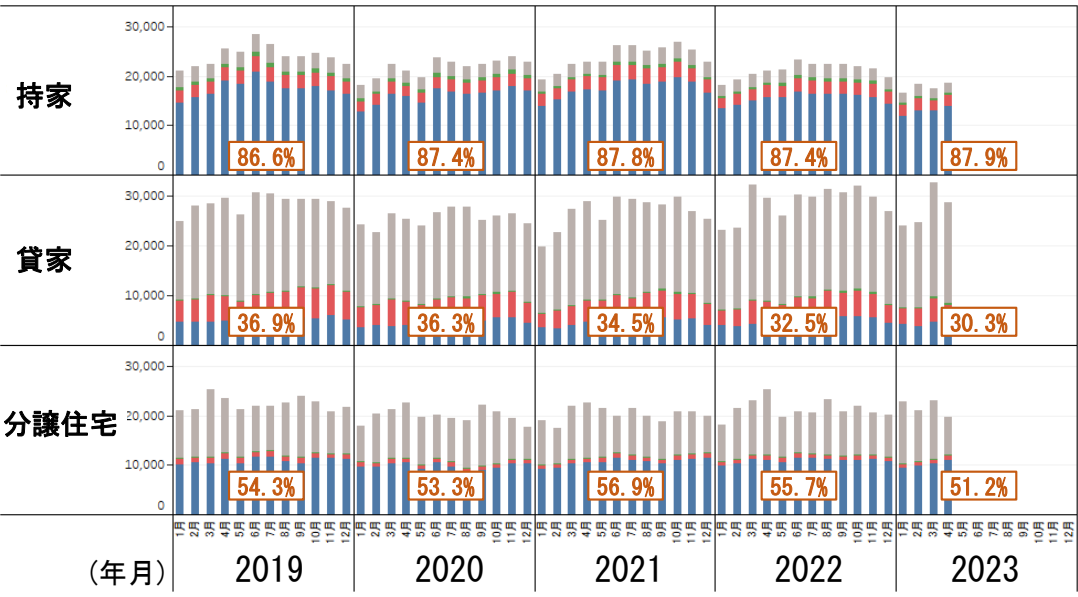
- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～4月の新設住宅着工戸数は、26.9万戸（前年同期比97.2%）、このうち木造住宅は14.1万戸（同95.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年 1～4月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	268,973	276,719	97.2%	265,520	101.3%
■非木造	128,266	128,692	99.7%	116,608	110.0%
木造	140,707	148,027	95.1%	148,912	94.5%
■木造プレハブ	3,310	2,873	115.2%	2,943	112.5%
■2×4	27,190	27,617	98.5%	27,340	99.5%
■在来軸組	110,207	117,537	93.8%	118,629	92.9%
□木造率	52.3%	53.5%		56.1%	

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

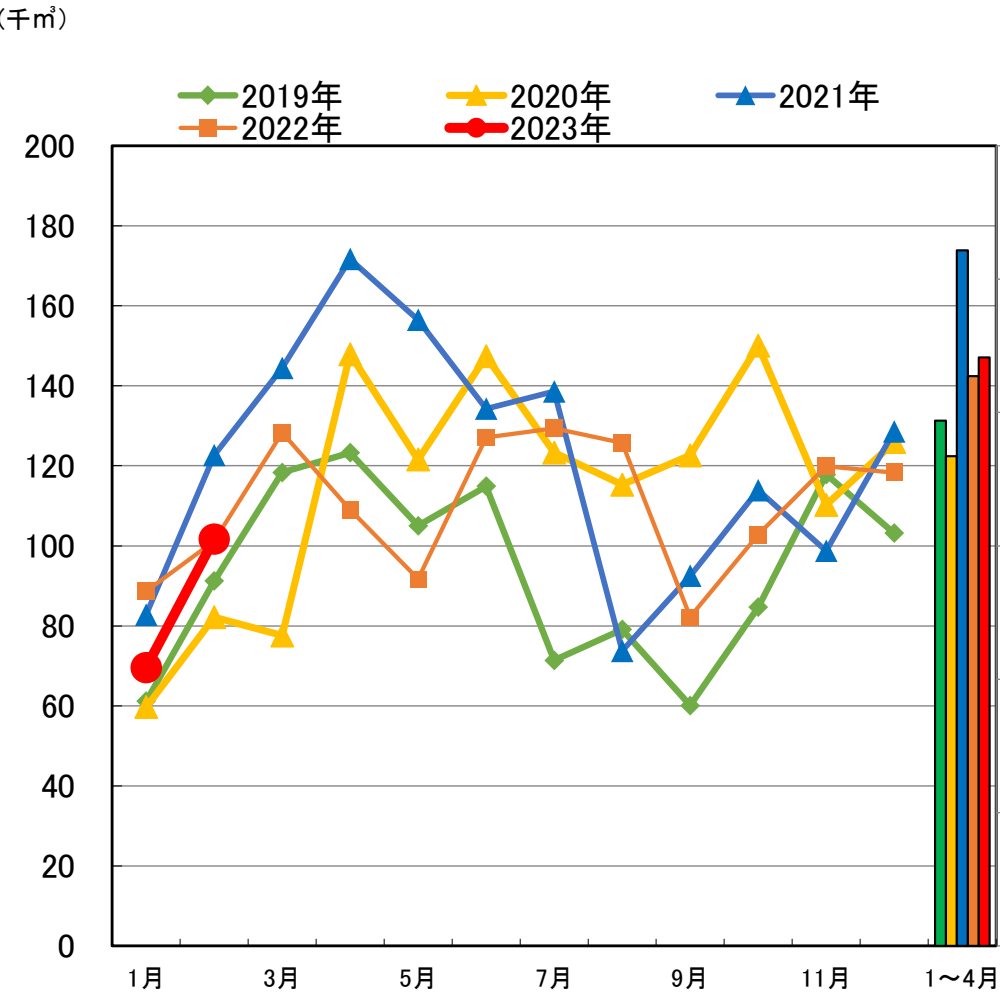


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

令和5年4月単月の木材輸出量は丸太145千 m^3 （前年同月比133%）、製材12千 m^3 （前年同月比83%）、合板11千 m^3 （前年同月比113%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
 ※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月 4月			累計 1~4月		
	主要品目内訳(千 m^3) 前年比(%)			主要品目内訳(千 m^3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	127 139%	5 97%	0 32%	379 107%	17 75%	1 37%
韓国	9 90%	1 98%	0 15%	34 89%	2 80%	0 18%
台湾	7 117%	2 147%	0 —	26 81%	6 111%	0 —
米国	0 —	3 122%	0 —	0 —	11 69%	0 7%
フィリピン	0 —	1 25%	10 121%	0 —	3 16%	38 96%
総計	145 133%	12 83%	11 113%	441 103%	40 58%	39 92%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千 m^3) 1~4月	比率 1~4月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	62.7	14.2%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	1.5	0.3%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	3.1	0.7%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	5.0	1.1%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	4.3	1.0%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	6.8	1.5%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	115.4	26.2%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	242.4	54.9%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない